

廿日市特別支援学校は創立五十周年を迎えました！ 記念行事を開催します

廿日市特別支援学校は、昭和49年に県内初の知的障害のある児童生徒を対象とした学校として設置され、この度、創立五十周年を迎えました。

次のとおり、創立五十周年を祝う記念行事を開催します。

歴史を振り返り、感謝の気持ちとともに次の時代につなぎます。

1 日時

令和6年10月1日（火）10時20分～11時30分

2 場所

広島県立廿日市特別支援学校 体育館
（廿日市市宮内 10877-2）

3 内容

記念式典（10時20分～10時50分）

記念公演（11時00分～11時30分）

ピアノ演奏 演奏家 三浦雄希氏（廿日市市宮内出身）

ロックソーラン演舞 元PTAロックソーラン部

4 出席者

廿日市市、広島市、大竹市教育委員会教育長

学校運営協議会委員、関係施設長、関係学校長

広島県教育委員会教育次長、本校・分校PTA 等（順不同）

廿日市特別支援学校 児童生徒（小学部、中学部、高等部）、教職員

5 本校の特色

廿日市市、大竹市、広島市佐伯区を就学エリアとする廿日市特別支援学校は、令和6年5月1日現在、本校の児童生徒は186名、4月に開校した阿品台分校の生徒は106名の計292名となり、この10年で100名余り増加しました。

こうした中、児童生徒の可能性を最大限伸ばし、地域で豊かにたくましく生きる力の育成を目指し、取り組んでいます。また、県西部地域の保幼小中高等学校等の特別支援教育のセンター的役割を果たしています。

